

■ 試験装置メーカーによる技術動向講演会

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様が次世代自動車に搭載される部品を製造できるように、次世代自動車に搭載される部品の情報や開発に必要な技術情報を提供する取り組みを行なっています。

今回、次世代自動車に関わる部品を開発する上で必要となった試験装置や評価方法について、試験装置を製造あるいは販売する会員企業の方々に講演していただくことにより、次世代自動車に関わる部品の試作や工法開発に取り組んでいる会員企業の皆様や、今後の事業拡大への準備として情報を収集したい会員企業の皆様が、試験対象となっているシステムや構成部品の性能に関わる情報から、次世代自動車に関わる部品を開発する上でのヒントを得ることができるよう、試験装置メーカーによる技術動向講演会を開催しました。

■日 時： 令和5年2月22日（水）14時～16時30分

■場 所： ホテルクラウンパレス浜松

■参加者： 46社/68名

講演1	株エヌエスティー 様 「車載用バッテリーの動向と生産ライン向け充放電検査について」
講演2	遠藤科学(株) 様 「次世代自動車における振動試験の変化」
講演3	株島津製作所 様 「EV駆動用モーターシャフトの多角的評価」
講演4	株テクニカルサポート 様 「モータ開発における実機試験とそのポイント」

<開会>



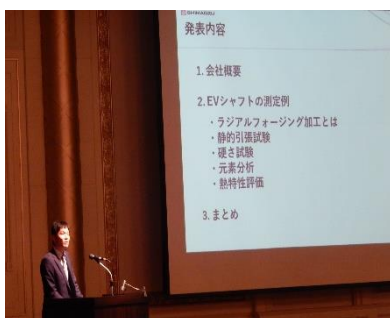
<講演1>



<講演2>



<講演3>



<講演4>



<質疑応答>



【参加者の声】

- ・EV関係の様々な試験、検査について詳しく理解できた。
- ・普段、他社試験装置メーカー様の講演を聞く機会が少ないので、動向を知ることができて参考になった。
- ・バッテリー・モータを理解するために何を知らなければならないか、何が性能に関わってくるのかを調べる上で、今回の講演が取っ掛かりになると感じた。
- ・EVと試験の変化について、分かり易かった。
- ・現在のニーズと課題を明確にして、アプローチ方法等、聞いていて分かり易かった。
- ・様々な技術を感じることができ、有意義な時間になった。電池のお話は特に興味深く、勉強になった。
- ・EV化に向けて測定技術等、現状と考え方(特にモータ測定)を変えていかないといけないと思った。
- ・検査装置側の視点から製造時の問題点などが明るみになった。どのように検査するか、ものづくりの面からも大きなテーマであることが理解できた。
- ・自動車に関連する各企業様は、難しい時であり、変化への対応、自分たちの技術向上等課題のクリアが必須であり、このような機会は重要な場であると感じた。
- ・現在携わっているインバータ開発業務に関して、評価治具、評価環境などを参考にさせていただくことができた。
- ・EV化に向け車だけでなく、試験方法や評価基準なども変化していることがわかり、大変勉強になった。今後の開発に活かして行きたい。

(講演1)

- ・EVバッテリーの種類や構成など、わかりやすかった。市場動向の課題について、知ることができた。
- ・車載用バッテリーの生産ラインにおける検査について、大変参考になった。
- ・車載バッテリーの動向、充放電設備の実情を知ることができた。

(講演2)

- ・振動に関する試験規格の変化から、次世代自動車、特に電動車に向けた試験課題をわかりやすく説明頂けた。
- ・電気自動車の普及により、求められる規格レベルも変化していることを知ることができた。
- ・EV車となった際の振動に対する考え方の違いが理解できた。

(講演3)

- ・鍛造後の材料特性変化が数値で分析してあり、参考になった。
- ・金属加工方法や条件で金属組織が変化することが多角的に評価するとわかりやすい。
- ・鍛造品のメタルフローを多角的に評価する手法を知ることができ、参考になった。ひずみ分布、元素マッピングで評価するところが興味深かった。

(講演4)

- ・設計段階から様々な要素があり、評価試験のポイントを失敗例を挙げて知ることができた。
- ・モータ開発時の必要な測定項目について、大変参考になった。
- ・試験を実施するにあたってのポイントが整理されており、参考になった。